



# 鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成23年秋号 (No.32)



## Good news

岐阜ダルク施設長 遠山香

先日のこと、夜中に携帯電話が鳴った。『こんな時間に誰だろう?』と着信番号も見ずに電話に出た。「あかちゃんが生まれる」と電話の声。寝ぼけていた私は、「いったい誰?」と聞いて、やっと長男からの電話だと気付いた。

長男夫婦の間に宿った命。朝早くに元気な男子誕生。メールで送ってくれた写真を見ると、長男が生まれたばかりの時に撮った写真の顔とそっくり。思わず涙があふれた。40万個もの卵子のひとつと4億個の精子のひとつが巡り会って、ひとつの命が生まれるという奇跡。だから自分は大切な存在なんだと仲間が教えてくれた。過去薬を使い続け、自分の命を削りながら生きてた過去があるからこそ、命の誕生の奇跡や尊さに深く感動するようになった。

長男が結婚して自立したのを機に、ハイヤーパワーと回復プログラムに導かれておつき合いしてきたパートナーと、8月6日小さな結婚式を挙げた。家族や親しい友人たちの笑顔に囲まれて幸せなひととき。仲間達からのサプライズももらった。回復が始まってもうすぐ10年。生きてて本当によかった。

回復プログラムにつながると、誰にでも起こるグッドニュース。Good newsを分かち合うもっと多くの仲間と出会えるよう、女性のための入寮施設の設立を目指します。岐阜市内に格安でお借りできる物件(3LDK程)を探しています。よい情報をお知らせくださいますようご協力お願い致します。

10月で設立7周年を迎えます。皆様の支えに心から感謝し、フォーラムを開催します。どうか皆様のお越しをぜひともお待ちしております。

※ハイヤーパワーとは、「それぞれが信じる『人知を超えた力』」のことです。浄土真宗ならば「阿弥陀如来の本願力」、キリスト教ならば「主なる神の導き」のことです。

## 仲間の体験談



まさと

16歳の時、家に居たら先輩から電話があったので、遊びに行きました。先輩の家に着いて、少したったら、注射器を出しました。「使ってみる？」と聞かれたので何なのか聞いてみたら、使うと気持ちが悪くなると言っていました。警察に捕まると逮捕されて刑務所へ行き2年間出て来れなくなると言っていました。何回か先輩と使って、そのうちに自分で腕に打つようになりました。腕は注射のあとだらけで夏なのに長袖を着ていました。

毎日何をしても薬が使いたいと思うようになっていました。薬を使った日は寝れなくなり、飯が食べれなくなり、3日間ぐらいつと起きていました。ずっと部屋にこもっていたので親が部屋の前に飯を置いてくれていた時があったけど、食べれませんでした。薬代ほしさに親を騙したり、人の家にドロボーしたり、ばあさんに包丁を突きつけて金を取ったりして薬を使っていました。ダメな自分は薬に手を出したら、さらにダメになっていました。仕事は続かないし、ウソはつくし、約束は守らないし、プラブラしてたら誰にも相手にされなくなりました。

25歳になって実家の近くで働き始めたけど、薬を使って無断欠勤が続いて「自分がおると迷惑なので辞めます。」と言いました。会社の社長と親父に薬が止まらない事を言ったら、施設に行きなさいと言われたので、自分で探して岐阜ダルクへ21年の9月に入寮しました。仲間と呼ばれる人と僕はシャブ汗でベタベタの手で握手しました。入寮したら仲間がサポートしてくれましたけど、少し元気になると一人で行動し始めて危険な場所に近づいたり、1日の生活費を貯めたりして薬は止まらなかったで、2月にダルクを出ました。

生活保護の金10万もって使いに行きました。10万のうち4万はシャブを買って使って最後のシャブを打ったら、幻聴と幻覚がおきて何をやってるのかわからなくなって、やばいと思ったので、名古屋ダルクのパーベル上に鏡の前に横になっていました。仲間に来て話したら、お前はズルイと言われました。

名古屋ダルクに助けて下さいとお願いをしました。すぐには入れてもらえず、3日後に入寮させてもらいました。22年2月12日に入寮して僕は生活保護の金を薬に使ったので、もう生活保護のお金は、もらえないという話だったけど、岐阜と名古屋の施設長と職員が役所の人に話をしてくれて、リハビリが出来るようにしてくれました。

それから1年間1日3回のミーティングと仲間のサポートのおかげで1年薬が止まって23年5月からコンビニでバイトを始めました。



## 高山フォーラムでの薬物依存症への質問と回答

平成23年7月30日、高山市民文化会館において、「夜回り先生」こと水谷修氏をゲスト講師に迎え、フォーラムをおこないました。

講演の後、質問が寄せられました。以下はその質問と答えをまとめたものです。

回答者は水谷修氏・遠山香・外山憲治。



質問 子供が薬物を使用している兆候や見分けかたがあれば教えてほしい。

回答

当事者にはすぐわかる。(遠山)

大麻の場合 子供は部屋でお香を焚く。そのときには灰皿をみる。灰皿に黒く粘りのある吸殻があったら間違いなく大麻。ただシタパコを吸わなければ大麻はやらない(水谷)。

覚醒剤の場合 2リットルのペットボトルに新鮮な水道水が満タンの状態で三本以上子供部屋に置いてあったら、机の引き出しの天板を探れ。覚醒剤が隠してある。(水谷)

覚醒剤は身体のなかで毒物と判断される。排出するために大量の水を必要とするので、はげしく喉が渇く。二日酔いの比ではない。(水谷)

質問 十代の薬物依存はどのぐらいいますか。

回答

だいたい十代後半から二十代前半で、処方薬(合法薬)をふくめて7%ぐらいではないか。百万人を超えるだろう。(水谷)

現在、東海地区のダルクでも十代の薬物依存症者を何人かあずかっている。(外山)

質問 薬物に誘われたとき、それも好きな友人や恋人からだったら、どのように断ったらよいか。

回答

そういう人物とは付き合っってはいけない。愛しているなら薬物を使っていない。本当に親しい人間が薬物を進めてきたら、その人物は薬物に乗っ取られている状態。(水谷)

質問 薬物で仲間を失ったことがあります。私は手を出していませんが、いままで何もできずにいました。

一般人が今からでもできる具体的な活動・方法がありますか。

回答

何もせず、できるだけ離れなさい。「仲間をなくした」という心の傷をもったまま薬物問題にかかると、さらに傷が深くなる。心に傷があると、人を救うことで傷を癒そうとするが、決していい結果はもたらさない。(水谷)

いちばん良い方法はダルクに寄付すること(水谷)

当事者でもできないことなので、ダルクなどに通報するのが最上の方法(外山)

(文責 岐阜ダルク後援会 広報担当 鈴木輝一郎)

7月30日(土)  
高山市にて

# 薬物乱用防止フォーラム開催

「僕は日本の子供達が、いとも安易に夜の世界で、錠剤や粉や液体の薬物を使ってしまう背景には、この日本人の薬は安全・安心・いいものだというすり込みが多分にあるような気がします。」水谷氏の熱いメッセージに会場の皆さんも聞き入っていました。



薬物依存者の援助に携わる水谷氏と当事者の外山氏の対談！「行き場所がない人達に情報を提供する」「自分の足で救いを求めない限り誰も救えない」「薬物依存は実は薬物が問題ではなく、病的な依存が問題」など話がありました。



今回集まった寄付金額 58,596円  
御協力ありがとうございました。

## フォーラムアンケート結果

- 興味深いお話がたくさん聞きました。薬物をやめようとしても代わりに支えになるものがなかったり、再チャレンジの選択肢ができるだけ多くないと思うので、長い一日を『今日一日』で乗り越えていくのも大変なんだと思います。(40代女性)
- 教育・行政・地域・等などあらゆるところでひとりひとりの子供・人間がかけがえのない存在として大切にされる世の中を作るよう努力しなくてはならないと思います。宗教を通して自分を見つめお互いに尊重しあうのもよいかもしれません。ダルクという団体の役割・重要性も少しわかりました(60代男性)
- ダルクというホッと一息できる場所がある事を知り、心強く思いました。仲間の体験談→心の扉を開放してくれてありがとう。水谷先生の講演、対談、いろいろ勉強させていただきました。影ながらご活躍を祈っています(60代女性)
- 水谷先生の講演でこんなに人の少ない会場は初めて見ました。残念です。(70代男性)
- もっと多くの人に来てほしいと思った。夏休みであっても学校行事として強制的にでも多くの学生(子供)に聞いてもらわなければいけない(10代男性)
- いなかの風習としてわけのわからないものには排除・認めないところがある気がします。ぜひ高校生に聞いてもらいたいと思いました。活動頑張ってください(40代女性)
- 毎年行っていけるといいと思いました。また、協力ができるようにしていきたいです。(50代女性)
- 薬物依存について分かりやすい説明で知る事ができました。当事者の話はとてもよかったです(50代女性)
- とても心にひびく薬物乱用防止フォーラムでした(30代男性)
- 薬物は一度手を出してしまったら取り返しがつかないことがよく分かった。絶対使うことのないようにしようと思った。高山でも薬物汚染があると聞き驚いた。遠い世界の事ではないと感じた。(20代女性)
- 自分やその周りで薬物依存は全く関係のない事と思っています。しかし、突然挫折すると薬物依存に陥ってしまう心の弱さというものが誰にでもあるのだと思いました。最近高山地区で覚せい剤が出回っている事を新聞で見て驚いた。(40代女性)
- アディクション(依存症)へのイメージが変わったように思います。意志が弱いと片づけてしまうのではなく社会全体の問題として捉える必要があると思いました。(20代女性)
- 「薬物依存」と聞くと薬がないと生きていけないというマイナスのイメージが強かったがこのイベントを通して依存に対するイメージが大きく変わりました「薬物依存= SOSを出している」問題意識をする視点として新たな視点が見つかりました。私大学生ですが、高校や大学で水谷さんの講話を聞いてほしいなと思いました。(20代女性)

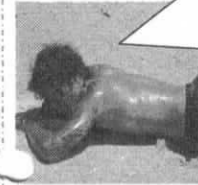
高山でフォーラムを行いたい！と願い、今回岐阜県の委託を受けて、初めて開催する事が出来ました。高山市民文化会館にて、水谷修氏をお招きし、夜回先生からのメッセージ「さらば哀しみの青春」というテーマで講演をしていただきました。当日は高山を中心に二〇〇名ほどの方にご来場いただくことが出来ました。来て下さった方の中には、「折角の良いフォーラムだったのに、もっとたくさんの方にこの活動を知ってもらえるようにまた行って下さい。次回の開催の時は、ダルク下の活動を知ってもらう事ができただけです。少しでも、ダルク下の地道な活動がまだ苦しんでいる薬物依存者の命を救う事を信じて、またこの高山でフォーラムを開催したいと思いを

# okinawa JRCNA7 コンベンション

7月1~3日 に沖縄で開催されたNAの第7回リージョナルコンベンションに参加。

6月30日~7月5日まで常夏の沖縄に岐阜ダルクのメンバー全員で行ってきました。飛行機に始めて乗る仲間や仲間に来るのが楽しみでわくわくしている仲間、それぞれ思い思いの気持ちを持って、いざ出発！！沖縄はさぞかし暑いのに涼しい・・・と思っていたのですが、行ってみたいけど暑い！！暑いことは暑いですが、からりと涼しい木陰に入ると結構涼しくて、まだ梅雨が明けていない岐阜県の方が暑いのでは？など着いた早々いつもと違う環境にはしゃぐ仲間達。一行はレンタカーを借りて、途中、沖縄そばとアイスぜんざいを平らげ腹ごしらえし、コンベンション会場へ。久々に会う仲間達のハグと共にこれから始まる5泊6日の沖縄の生活に各自勝手な思いを抱くのでした。このときは何が起こるか知る由もなし・・・

### ウォーリー



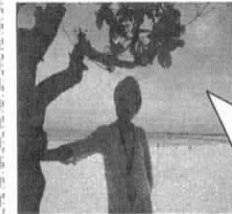
飛行機に初めて乗りました。案外乗り心地いい！今回の旅行で、僕は男、他の仲間は女という僕の問題です。比べてしまうんです。それで、僕はずっとすねていました。海に行っても、ずっと日焼け、おかげで真っ黒。お腹がすいていて、沖縄料理も食べたんだけど、ちょっとしか食べられませんでした。ちえっ・・・

### ふみか



三年前に入院した病院で出会った仲間とコンベンションで再会しました。使っていた時の仲間と、プログラムをきっかけにまた出会ったのはこれが初めてでした。とても感動して奇跡だなあ～と感じました。あと、魚がすごく綺麗でした☆今までの中で一番感動の多いコンベンションでした(≧▽≦)

### かおり



青の洞窟と呼ばれている観光スポットでシュノーケリング。せっかくの美しい海を堪能する前に波に酔ってしまい具合が悪くなり、日焼けもこわい・・・若い頃のように海は楽しめない？(苦笑) 全国の多くの仲間と会えて、しあわせ～♡

### ひろみ



スピーカーでstep4.5を話す機会が与えられました。話をしていたら、また泣いてしまった・・・でも、終わった後に仲間と「共感しました。」と声をかけられ、役にたったなあ・・・感謝です。

## 活動報告

### 7月

- 1-5日 NA リージョナルコンベンション in 沖縄
- 7日 ダルク後援会議
- 8日 野宿生活者支援ボランティア 笠松刑務所薬物離脱指導
- 9日 薬物電話相談日
- 11日 各務原病院メッセージ
- 13日 薬物電話相談日 ニュースレター発送作業
- 23日 薬物電話相談日 福祉フェア
- 24日 福祉フェア
- 聖イエス岐阜教会募金活動
- 28日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 30日 薬物乱用防止フォーラム(高山市)
- 31日 NA フェアシップ(伊良湖)

### 8月

- 1日 薬物依存症支援たんぼの会
- 4日 ダルク後援会議
- 8日 各務原病院メッセージ
- 10日 社会を明るくする運動・講演(日進市)
- 12日 野宿生活者支援ボランティア
- 13日 薬物電話相談日
- 14日 大垣ルーテル教会募金活動
- 18日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 19日 奈良ダルクフォーラム
- 27日 薬物電話相談日
- 28日 フリーマーケット
- 30日 笠松刑務所薬物離脱指導
- 31日 NA ワールドコンベンション in サンディエゴ



# ご協力ありがとうございます

## 献金者名 (6月24日～8月22日到着分)

岡田喜美江 小島浩一 仙田正子 立垣昭 藤江功 田中修 養南病院院長・杉田憲夫 金津保 加藤三郎  
市岡多賀賜 臨済宗妙心寺派宗教法入・正願寺 北谷雅春 弁護士・伊藤知恵子 弁護士・神谷慎一  
吉田春江 渡辺雅子 成井尋江 久保田芳則 岐阜キリスト教会 医療法人十全会・聖明病院 川野将寛  
橋本きく江 清水由子 養清工業(株) 大野正博 大垣ルーテル教会 上田千津子 小嶋亜也 鈴木輝一郎  
勝又まりあ 坂本純一 岩松正義 秋山真司 吉田和郎 笠松キリスト教会 櫻井康子 北谷雅春 吉田典子  
弁護士・伊藤知恵子 弁護士・長澤清 匿名5名

## 献品者名

中本宮生 鳥居与記 大下大圓 澤木幾佐 匿名2名

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいたしますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

**岐阜ダルクは皆様の寄付金がないと活動ができません。活動資金が不足しています。  
いつも心苦しいお願いですがどうか活動資金のご協力をよろしくお願い申し上げます。**

### 女性の入寮施設(女性ハウス)の物件を探しています

女性の入寮施設を設立したいため、岐阜市内で空き家を探しています。4・5名が入寮できる3LDK程の物件を格安で貸してくれるよい情報がありましたら、お知らせください

**連絡先 岐阜ダルク 施設長 遠山 TEL 058-251-6922**

### 編集後記

△コンベンションの費用は寄付金ではなく、参加者が各自負担しています。(鈴木)  
△ダルクの断薬プログラムのひとつにNAの12stepがあります。step4は「自分の人生の棚卸しをすること」、step5は「人生の棚卸し表を信頼のおける人に聞いてもらうこと」です。(鈴木)

編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク

編集担当 岐阜ダルク後援会 藤藤幸二 鈴木輝一郎

〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922

Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp ホームページ: <http://www.gifu-darc.org/>

2011年 岐阜ダルクニュースレター秋号(No.32)

定価 1部 200円

編集責任者 遠山 香

発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

このつうしんは岐阜市市民活動支援事業の助成を受けて、作成と発送をしています!!